MFCController for D8500 FP23

ASAKURA, Hiroyuki

はじめに

MFCController は, BL5S1 で利用しているマスフローコントローラ D8500 および温度調節器 FP23 について,よく使われると思われる機能の一部を実装したインターフェイスです.

MFCControllerの概要

In situ measurement

プログラム昇温,ガスの切り替え,および XafsM2 と連動した測定が行うことができます

📒 MFC Controller								(- • ×
File Help									
In situ measurement	Individual Control								
Current status		⁸⁰⁰ F							
Stars	Connected	700							
SV	Not set °C	600							
Elapsed time	0 min	● 500 L							
Condition		atur							
Trigger delay	0 590	a 400 -							
Auto Volvo	0 300	<mark>,</mark>							
		200							
Other st	l	100							
Start	🛛 🕅 Trigger ON								
Emerge	ncv Stop	0:0	0 1:00 2:	:00 3:00	4:0	0 5:00	6:00 7:0	0 8:00	9:00
						Elapsed Tin	ne		
Do Comment	Time	(H:mm)	Temp (°C)	Mode		H2 (sccm)	O2 (sccm)	He (sccm)	N2 (sccm)
				None	•	0	0	0	0
				None	•	0	0	0	0
				None	•	0	0	0	0
				None	•	0	0	0	0
				None	•	0	0	0	0
				None	•	0	0	0	0
				None	-	0	0	0	0
				None	•	0	0	0	0
				None	•	0	0	0	0
				None	•	0	0	0	0
				None	-	0	0	0	0
				None	•	0	0	0	0
				None	-	0	0	0	0
				None	-	0	0	0	0
				None	-	0	0	0	0

Individual Control

マスフローコントローラおよび温度調節器を個別に操作したい場合に利用します.

MFC Controller			
ile Help			
In situ measurement	Individual Control		
Gas			
H2 SV 0 PV 0 CLOSE	02 N2 H SV 0 SV 0 F PV 0 PV 0 F CLOSE CLOSE	He ● 3V 0 2V 0 CLOSE	
Tomporative			
- remperature			
Temp 🔵			
SV 25			
PV 25			
Start			

デフォルトの設定ファイル

Stars の接続に必要なパラメータは MFCController.ini に記述されています. (ファイル名固定)

[STARS] NAME=MFCController ADDRESS=localhost PORT=6057 [MassFlowController] NAME=D8500 02=1 H2=2 He=3 N2=4 [TemperatureController] NAME=qfp23 [Valve] NAME=dio1616lnfit H2=0 02=1 N2=2 He=3

In situ measurement $\pm - \Vdash$

各画面の説明

In situ measurement モードのウィンドウは4つの部分に分かれています.

状態表示およびトリガー設定

Stars 接続状態,温度調節器の現在温度および設定温度,開始からの時間が表示されます.また,XafsM2 と連携したトリガーへのディレイ,電磁弁の自動制御を行うかどうかを選択することができます.

Current status	
Stars	Connected
PV SV	Not set °C
Elapsed time	0 min
Condition	
Trigger delay	0 sec
Auto Valve 🛛 🖓 On	

Stars

Stars に接続されていると Connected, 接続されていないと Disconnected と表示されます.

PV

FP23 が接続されている場合,現在の測定温度が表示されます.接続されていないと,Unknown と表示されます. (おおよそ1秒おきに更新されます)

SV

FP23 が動作している場合,現在の設定温度が表示されます. 接続されていないと, Not set と表示されます.

Elasped time

プログラム昇温からの経過時間が表示されます. (現時点では表示されません)

プログラム昇温グラフ表示

下記のステップ設定で入力された温度変化をグラフィカルに表示します. (後述)



制御ボタン

プログラム昇温の開始および緊急停止ボタンです.



Start

プログラム昇温を開始します.

Emergency Stop

すべての機器を停止します. (必ず各機器を目視して,停止されたことを確認して下さい.)

Trigger ON

後述のトリガー設定による XafsM2 との連携に使用します.

ステップ設定

プログラム昇温のステップを入力します.

Do	Comment	Time (H:mm)	Temp (°C)	Mode	H2 (sccm)	O2 (sccm)	He (sccm)	N2 (sccm)
				None 🔻	0	0	0	0
				None 🔻	0	0	0	0
				None 🔹	0	0	0	0

Do

指定された行をプログラム昇温で使用します.

Comment

プログラム昇温条件をファイルに保存した際にコメントとして記録されます.

Time(H:mm)

時間を指定します.1時間であれば1:00,2時間40分であれば2:40といった書式で指定して下さい.

Mode

XafsM2 と連携して, QXAFS 測定を行うためのオプションです. None, Continuous, At Start の3つの オプションを選択することができます.

H2 (sccm)

H2 の設定流量を sccm で指定します.

O2 (sccm)

02の設定流量を sccm で指定します.

He (sccm)

He の設定流量を sccm で指定します.

N2 (sccm)

N2の設定流量を sccm で指定します.

プログラム昇温の例

例えば, 室温において10分かけて酸素 100 mL/min (標準状態において, mL/min = sccm (standard cc per minutes)) で置換してから, 1時間かけて300度まで昇温, 300度を20分保持してから, 更に1 時間で600度まで昇温, 最後に600度を40分保持するには, ステップ設定 に以下のように入力してください.



制御ボタンの Start をクリックすると、プログラム昇温が実行されます.

各ステップ左端の **Do** にチェックを入れることを忘れないでください. このチェックが入っていないと実行されません.

IMPORTANT プログラム昇温の設定は、あくまで FP23 による温度制御設定を行うだけであり、 実際にこの温度になっていることを保証するものではありません. 特に低温域では温度制御が難しいことがわかっています.厳密な温度制御が必要な場合は必ず スタッフに連絡して下さい.

プログラム昇温の例2 (Mode の利用)

TIP



室温において10分かけて酸素 100 mL/min で置換してから,1時間かけて300度まで昇温中に QXAFS を連 続測定,300度を20分保持し,20分中10分経過した時点で QXAFS 測定を1回行い,更に1時間で600度ま で昇温中に QXAFS を連続測定,最後に600度を40分保持して,40分中10分経過した時点で QXAFS 測定 を行うには,ステップ設定 に以上のように入力してください.

Individual control $\pm - \Vdash$

Individual control モードでは,マスフローコントローラ D8500 を用いたガス流量の制御及び温度調節器 FP23 の固定温度の制御が行うことができます.

ガスの個別制御

ガス流量の個別の制御は,以下の領域で行います.



SV

設定温度 (Setting Value)

PV

現在温度 (Present Value)

CLOSE (or OPEN)

マスフローコントローラ上流部に接続されている圧縮空気バルブの状態を示します.

ガスの個別制御手順

- 1. CLOSE をクリックし, 圧縮空気バルブが開くと, 表示が OPEN に変化します.
- 2. SV に流したい流量を mL/min で入力し, Enter キーを入力して下さい.
- 3. 正しく動作していれば, PV が変化していき, 2,3 秒で SV で設定した流量に到達します.

TIP OPEN, CLOSE は、実際には圧縮空気バルブを制御しているエアオペレートバルブを制御しているデジタル I/O の状態を示しています.

TIP SV 設定時に, Enter キーを入力しないと, 設定流量が反映されません.

一定温度の制御

Temperat	ure	
Temp		
SV	25	
PV	25	
St	art	

SV, PV は上記のガスの個別制御と同様で,流量を示します.

一定温度の制御手順

1. SV に適当な温度を入力する.

2. Start ボタンをクリックすると, SV で設定された一定の温度へ昇温します.